

日本共産党船橋議員団

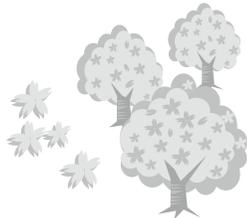
三にゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>

市会議員
 石川敏宏 ☎462-4548 事務所☎467-2860
 岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160
 金沢和子 ☎422-5278

佐藤重雄 ☎432-9872
 関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 中沢 学 ☎493-8140
 渡辺ゆづ子 ☎462-7273

多額の赤字を生じさせた 藤代市長に退職金を 受け取る資格はあるのか



3月定例会で市長の市政執行方針の表明がありました。
 4期16年間の成果として、船橋南口再開発ビル（フェイス）オープンや人口が7万人増えたことなどをあげました。しかし再開発事業は140億円もの赤字を出し、今年の3月までで90億円も税金で穴埋めをしてきています。

また平成2年から始まった飯山満土地区画整理事業は、すでに101億円もの赤字が見込まれていて、これも市民の税金を投入し、穴埋めをせざるを得ないと市長は答えました。101億円は年収400万円の方の2500年分の収入に当たる額です。これだけの赤字を出してもだれも責任をとらないのが藤代市政です。

**市長の退職金は、
4年ごとに2840万円も**

藤代市長は、すでに三回も右記額の退職金を受け取っています。今議会には、市長提案として「市長退職金を今回に限って3割減額する」（減額後1990万円）条例案がだされています。

日本共産党は、開発事業で生じた赤字の責任は藤代市長にあり、

退職金は全額返上するのが当然だといただきました。藤代市長は、「いずれかの時点で、退職金について、対応を明らかにしたいと言ってきたが、（国保料の引き上げで12億円の負担増という）苦渋の選択をしたので、3割を減額することにした」と答えましたが、開発事業失敗の反省はありませんでした。

日本共産党は、市長の退職金を全額削減する修正案を提案しました。

日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

4月24日(水) 弁護士が相談を受けます
 5月23日(木)

会場：中央公民館
 (部屋は1F入口案内板に掲示)

時間：午後1時～4時

要予約 ☎436-3030

東葉線

会社の経営努力で

通学定期の値下げは可能

いま開かれている議会の中で、

東葉線の経営についての質疑の中で、通学定期については、「値下げ可能」という答弁がありました。

…と回答しました。

3月8日の質疑で、「東葉高速鉄道株式会社の借入れ金利が2

東葉高速鉄道は、設立時から国が関与して、営団地下鉄の延伸ではなく「第三セクター」で運用するようになった経過があります。が、「第三セクターで経営する理由」は無いものです。

分の1にも下がっている今こそ、抜本的な経営の見直しをするチャンスではないのか？経営権の譲渡も含めて改善策を考えよ！」という質問に、市は「金利が下がっても、3千億円という有利子負債を抱えたままで抜本的な改善というのは難しい。しかし、通学定期の値下げは可能と思われるので、企業の経営努力で値下げを検討するよう申し入れる。八千代市でも議会から、要望がでているので

船橋市が、多額の出資を続けたり、利子補給金を出し続けるのは凍結し、民事再生法の適用なども検討し、経営の譲渡などで、税金の無制限な支出をやめる時がきています。

この会社は、千葉県・船橋市・八千代市の3自治体で八割近くの資本を持っている「自治体セクター」で、3自治体が経営のあり方を決断しなければならぬ会社なのです。

北習志野駅と東葉線飯山満駅から 医療センター行きバスの 試行運転が始まります。

新京成北習志野駅や高根公団駅から医療センター行のバスを望む声が、大きく寄せられてきました。日本共産党は、毎年市長への予算要望書で実現を求めてきました。10年ほど前には、試行運転も行われましたが、「多額の市の負担が生ずる」と突然中止されたという経過もありました。

今回の試行運転のルートは、
①北習志野駅発→高根木戸駅→芝山→東町→医療センター

②飯山満駅発→芝山→東町→医療センター
市は、「5月から6月ごろから出来るだけ早く運行したい」「今年一年間の試行の利用状況をみて、本格実施をするか見極めたい」としています。

料金は、現在の新京成バスの料金体系になるとのことです。

